

TOPICS

「医療経営士1級」合格をめざして 多摩大学大学院・長ゼミ開講中!

多摩大学大学院*の客員教授を務める長英一郎氏(東日本税理士法人副所長/「医療経営士1級」合格者)は、同大学院品川キャンパスにて、4~7月(隔週日曜日9時~12時10分、全8回予定)、長ゼミを開講している。本講座は、実は「医療経営士1級」の対策講座となっており、昨年4~8月の開催が好評だったことから、今期も開講の運びとなった。



「今期の履修者のうち、少なくとも5人は「医療経営士1級」に挑戦する予定」と言う長氏

「医療経営士1級」をめざした講座とは、どのようなものなのか。長ゼミの様様をレポートする。

*多摩大学大学院は、「医療経営士1級」合格者をAO入試の対象としている。また本協会は、「医療経営士1級」資格認定者が同大学院への入学を希望する場合、奨学金制度を設けている。

5月10日(日)に開催された長ゼミ(第2期)には、15人の履修者が出席した。医師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、弁護士、税理士、MRなど、その職種は多岐にわたる。本講座は「医療経営士1級」合格をめざした内容となっており、特に注力しているのが論文記述力とプレゼンテーション力の向上である。

最初の30分で論文演習が行われた。テーマは「地域包括ケアシステムを構築する上での地域での課題は何か?」。演習後、模範解答が配られ、各自の論文は後日、長氏の添削を受けられる。

長氏による上手なプレゼンテーションについてのポイント解説の後、4人の履修者による10分間プレゼンテーションが行われた。四者四様のテーマ設定、内容、話し方、資料作りなどを知ることで、自分なりのプレゼンテーションの仕方を考えることができる。4人の中には「医療経営士1級」合格者が含まれており、実際に二次試験で行った口頭試問(プレゼンテーション形式)の内容が実演された。「短い時間で要点を盛り込まなければならない10分間プレゼンは、とても難しい。しっかりした前準備が勝敗を分ける」といったアドバイスもあった。

その後、「平成27年度介護報酬改定が病院に与える影響」と題した長氏の講義で、約3時間にわたる講座は終了。盛りだくさんの内容はもちろんのこと、履修者同士が自由に意見を述べ合う活気あふれた雰囲気印象的だった。



10分間プレゼンに真剣に耳を傾ける履修者たち